

第1号議案 2012 年度事業報告書

2012 会計年度 (2012.4.1 – 2013.3.31)

I. 研究活動

1. 研究委員会において第5回圧入工学セミナー、第1回 IPA 学生ワークショップを開催し、圧入技術の普及・啓蒙に努めた。

1-1 『第5回 IPA 圧入工学セミナー』を2012年7月9日13:30から17:15まで、高知市、サンピアセリーズで行い、約210名が参加し、講演の内容は以下の通りである。

講演1 「ケンブリッジ大学と技研製作所の共同研究成果」

ケンブリッジ大学 教授 マルコム・ボルトン (IPA 会長)

株式会社技研製作所 新工法開発部 実証科学課

リーダー 石原 行博 (IPA 研究委員会委員)

講演2 「上海の軟弱粘土における近接した地下埋設パイプラインに及ぼす圧入杭の圧搾効果」

同济大学 博士 タン・ヨン (第3回 IPA 研究助成賞受賞者)

同济大学 教授 パン・ファンルー (IPA 副会長)

講演3 「高知県における大規模災害への備え」

高知大学 教授 大年 邦雄

講演4 「インプラント構造と適用事例」

株式会社技研製作所 新工法開発部 エンジニアリング課 リーダー 安岡 博之

1-2 『第1回 IPA 学生ワークショップ』を2012年7月10日8:30から11:00まで、(株)技研製作所高知本社にて行い、23名が参加し、講演内容は下記の通りである。

講演1 「周辺地盤の沈下に伴う地中構造物への鉛直土圧増加」

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 國枝 将大

講演2 「熱力学連成解析システムへの超臨界 CO₂ モデルの実装と炭酸化進行評価」

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 蓑毛 宏明

講演3 「繰り返し水平荷重をうける杭基礎の挙動に関する実験的研究」

金沢大学理工学域環境デザイン学類 川森 真弓

講演4 「直接基礎の支持力における基礎幅の影響について」

金沢大学理工学域環境デザイン学類 永井 里美

講演5 「上界法によって評価された、修正カムクレイモデルの落とし戸の安定性」

金沢大学理工学域環境デザイン学類 佐々木 里奈

講演6 「先端開口杭に対する静的・動的・急速載荷試験の実験と解析研究」

金沢大学理工学域環境デザイン学類 杉浦 沙紀

講演 7 「多層地盤に対する杭圧入抵抗に関するモデル実験」

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 真壁 央稔

2. 第 4 回 IPA 研究助成賞の公募と授与

2-1 4 月 16 日にプロポーザル公募を開始し、以下のスケジュールで審査し、授与式を行った。

7 月 15 日 プロポーザル提出締切り

9 月 13 日 選考委員会で審査

9 月 14 日 受賞者に結果通知

12 月 6 日、7 日 授与式の実施(第 4 回 IPA 国際ワークショップ開催時)

◇受賞研究提案 (7 件)

- 「圧入杭の打込みに関する遠心載荷モデル化」
シェフィールド大学 博士 ジョナサン・ブラック
- 「上海軟弱粘土における圧入杭の時間依存性挙動」
同済大学 准教授 譚 勇(タン・ヨン)
- 「圧入中の杭を用いた地盤情報の取得と解析、および杭の支持力性能との関係」
香港大学 博士 楊 徳忠(ヤン・トクチュウ)
- 「杭先端円環部の厚さが施工性や支持力性能に与える影響」
東京理科大学 教授 菊池 喜昭
- 「圧入杭による既存の漁業岸壁の補強に関する基礎的研究」
高知工業高等専門学校 教授 岡林 宏二郎
- 「圧入中の杭先端付近の粒子の移動に関する 3 次元解析」
東京大学 准教授 長井 宏平
- 「杭の支持力に対する載荷速度の影響の評価」
株式会社大林組 渡邊 康司

3. 第 3 回 IPA 研究助成賞受賞者の論文作成および第 4 回 IPA 国際ワークショップでの発表。

4. 第 4 回 IPA 国際ワークショップの報告会の開催。

2 月 20 日:東京会場(IPC)参加者 52 名、2 月 25 日:高知会場(ちばさんセンター)参加者 124 名

5. IPA 研究論文集第 3 号「Press-in Engineering 2013」の編集と出版準備をした。

II. 国際会議活動

1.
 - 11 月 6 日～9 日、奥村事務局長がシンガポールに出張して、第 4 回 IPA 国際ワークショップにおける圧入施工のデモンストレーション現場を探索。
 - シンガポールの人脈拡大。
 - ACUUS(都市地下空間国際会議)にエコパークの発表支援を行なった。

2. 第4回 IPA 国際ワークショップを12月5日～7日にシンガポールで開催した。

主な内容は以下のとおりである。

5日 18:00～20:00 ◇レセプション

6日 講演1 「圧入杭と地盤の相互作用のメカニズム」

ケンブリッジ大学 教授 マルコム・ボルトン、博士 スチュワート・ヘイグ

講演2 「東日本大震災の教訓と地震防災対策」

早稲田大学 教授 濱田 政則

講演3 「東南アジアにおける圧入技術の適用事例」

ATSUNEW GIKEN PTE. LTD. 博士 ゴー・テイクリム

講演4 「アジアにおける鋼管杭・シートパイルの市場」

Oriental Sheet Piling Sdn.Bhd. カムスーン・パン

◇第3回 IPA 研究助成賞受賞者による研究成果論文発表(3件)

講演5 「繰返し水平載荷を受ける杭基礎と周辺地盤挙動に関する基礎的実験」

金沢大学 教授 松本 樹典

講演6 「ジャイロパイラーを用いた連続杭施工の効率化」

シティー大学 ロンドン 博士 アンドリュー・マクナマラ

講演7 「砂礫・粘性土の多層地盤への杭圧入抵抗の模型実験による観察」

東京大学 准教授 内村 太郎

7日 9:15～9:30 ◇第4回 IPA 研究助成賞授与式

講演8 「PPT 地盤情報取得技術」 株式会社技研製作所 石原 行博

講演9 「建設の五大原則による評価手法と震災調査から見えるインプラント構造の優位性」

株式会社技研製作所 博士 福地 良彦

講演10 「シンガポールにおける硬質地盤施工の適用事例と圧入施工現場見学会の説明」

Guan Chuan Engineering Construction Pte Ltd リャオ・ウェイシュン ディビッド

講演11 「硬質地盤施工現場見学会の説明」

Eng Lee Engineering Pte Ltd ボン・サイ・キング氏

13:00～16:00 ◇現場見学会

施工中の圧入施工現場(Guan Chuan Engineering Construction Pte Ltd)

及び、硬質地盤施工現場(Eng Lee Engineering Pte Ltd)を見学

3. 第5回 IPA 国際ワークショップ開催候補地の検討をした。

4. 産学官との連携強化

- ・ 4月30日～5月4日 奥村事務局長が台湾へ出張し、台湾技研の営業支援を行ない、社会マネジメントシステム学会、国際シンポジウム“SSMS2012”に参加した。
- ・ 同済大学土木工学部、シンガポール国立大学、台湾国立大学などの大学との連携強化を図った。

Ⅲ. 委員会活動

1. 総会

2012 年度通常総会(メール会議)を 2012 年 4 月 2 日から 4 月 19 日に開催し、第 1 号議案「2011 年度事業報告書」、第 2 号議案「2011 年度収支計算書及び監査報告書」、第 3 号議案「2012 年度事業計画書」、第 4 号議案「2012 年度収支予算書」、第 5 号議案「理事選任」、すべての議案を全会一致で決議された。

2. 理事会

2013 年度メール理事会を 2013 年 1 月 28 日から 2 月 4 日に開催し、第 1 号議案「2012 年度収支修正予算書」、第 2 号議案「2012 年度新規会員報告書」、すべての議案を全会一致で決議された。

3. 広報委員会

広報委員会にて、ホームページの充実、プレゼンテーションツールの拡充、会員専用サイトの新設、などの広報活動を活発に行った。

Ⅳ. 広報活動

1. ホームページの更新

- 1-1 国際圧入学会のホームページに種々の活動および、出版物に関するコンテンツを追加更新した。

2. 講演活動

- 2-1 2012 年 6 月 12 日、全国圧入協会の 2012 年度総会において、奥村事務局長が『IPA 活動報告と第 4 回 IPA 国際ワークショップ』について講演した。

3. プレス発表等

- 3-1 第 4 回 IPA 国際ワークショップ、同報告会などのイベント、研究成果などを新聞・雑誌に適時に発表した。

Ⅴ. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動

- 1-1 技研製作所 IPA 推進室が主体となり、正会員、法人会員の勧誘活動を行った。

(2013 年 3 月 25 日現在)

正 会 員 472 名 新規会員:22 名

法人会員 28 社 新規会員:3 社 ※法人会費は 33 口 (※技研製作所は 5 口)

学生会員 18 名

以上

第 2 号議案 2012 年度収支計算書及び監査報告書

2012 会計年度(2012.4.1-2013.3.31)

(単位: 円)

科 目	修正予算額	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	224,696	224,696	0	3社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,596,391	4,466,391	△ 130,000	448名
法人会員年会費収入	3,192,988	3,192,988	0	33口
③ 寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	3,000,000	0	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	1,731	2,499	768	
雑収入	1,020,000	1,020,000	0	インプラント構造冊子協賛金
事業活動収入計	12,035,806	11,906,574	△ 129,232	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
第3回研究助成金支出	0	0	0	
第4回研究助成金支出	4,500,000	4,500,000	0	
第4回IPA国際ワークショップ開催費	4,149,404	4,145,474	△ 3,930	
第4回IPA国際ワークショップ準備	486,149	486,149	0	ACUUS
第4回IPA国際ワークショップ報告会	230,000	264,832	34,832	東京・高知
「Press-in Engineering 2011」印刷代	0	0	0	
第3回IPA助成賞論文査読料	90,000	90,000	0	10件×2名
第3回IPA研究助成賞受賞者研究支援	0	0	0	
第4回IPA研究助成賞選考料	48,000	48,000	0	8件×2名
第4回IPA研究助成賞受賞者研究支援	237,480	237,480	0	ウクライナ交通費含
研究委員会委員謝金	50,000	0	△ 50,000	
第3回IPA圧入工学セミナー	0	0	0	
第4回IPA圧入工学セミナー	0	0	0	
第5回IPA圧入工学セミナー	498,258	498,258	0	高知
「インプラント構造 コンセプト&適用例」印刷代	781,617	781,617	0	
海外会員活動支援	97,673	268,403	170,730	台湾(SSMS2012)、上海
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	140,000	133,350	△ 6,650	
会員証作成費用	20,000	0	△ 20,000	
印刷代	113,920	119,210	5,290	
翻訳代	50,000	0	△ 50,000	
国内外送料	150,000	58,455	△ 91,545	
通信費	100,000	105,099	5,099	
賃借料	3,000,000	3,000,000	0	
IPC事務用品費	270,000	313,918	43,918	ハナー、スタンプ代等
支払手数料	400,000	106,657	△ 293,343	助成金送金等
③ 国内交通費				
事務局員	350,000	232,324	△ 117,676	
研究委員会開催費	200,000	73,520	△ 126,480	
支部活動費	0	0	0	
事業活動支出計	15,962,501	15,462,746	△ 499,755	
事業活動収支差額	△ 3,926,695	△ 3,556,172	370,523	

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	2,000,000	2,000,000	0	
投資活動収入計	2,000,000	2,000,000	0	
2 投資活動支出				
① 固定資産取得支出				
定期預金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	2,000,000	2,000,000	0	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	50,000	30,495	△ 19,505	
研究予備費	0	0	0	
当期収支差額	△ 1,976,695	△ 1,586,667	390,028	
前期繰越収支差額	2,407,625	2,407,625	0	
次期繰越収支差額	430,930	820,958	390,028	

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

2013 年 3 月 18 日

監事

田中孝明



監事

Alamy Hyle

印



In our opinion, the above statement of accounts are presented fairly in all material respects.

18/3, 2013,

Auditor

[Signature]

Auditor

Alamy Hyle



第 3 号議案 2013 年度事業計画書

2013 会計年度 (2013.4.1 – 2014.3.31)

I. 研究活動

1. 圧入設計施工指針を策定する。
2. 圧入中のモニタリングによる地盤物性の評価方法を確立する。
 - PPT (Pile Penetration Test) 技術をオーソライズする。
3. 正会員、法人会員等から圧入施工現場の計測に関するプロポーザルがあった場合現場計測業務を積極的に支援する。
4. 第 3 号 IPA 研究論文集「Press-in Engineering 2013」の発行と普及を実施する。
 - 国立国会図書館、国内外大学、関連する学協会等に配布する。
5. 第 4 回 IPA 研究助成賞受賞者に対する研究支援を行う。
 - 圧入技術の専門家を技術アドバイザーとして指名し、受賞者の研究を支援する。
 - 法人会員の現場ニーズを研究に反映する支援をする。
6. 圧入工学セミナー、研究成果発表会等を開催し、圧入技術の普及・啓蒙に努める。

II. 国際会議活動

1. 7 月に高知で圧入工学セミナー・若手研究者ワークショップを開催する。
 - ケンブリッジ大学、東京大学、金沢大学、東京理科大学、同済大学等、若手研究者の交流を図るとともに、圧入技術の国際展開に貢献する。
 - 海外の市場が予測される国より、研究者、技術者を招聘し、その国における圧入技術に関する研究等を検討する。
2. 第 5 回 IPA 国際ワークショップ (2014 年度開催予定) の開催準備を行う。
 - ワークショップ会場や、現場見学会、プログラムについて検討する。
3. 産学官との連携強化を図る。
 - ASCE、DFI、国際地盤工学会、中国土木工学会、上海土木学会等と情報交換を行う。
 - 同済大学、シンガポール国立大学、マレーシア (UTHM) 等と連携強化を図る。

Ⅲ. 委員会活動

1. 総務委員会の活動を充実させ、財政基盤を強化する。
2. 研究委員会にて、機械・計測分野の委員を拡充し、研究活動を活発にする。また、現場計測データなどの解析を行って、地下の可視化に重点を置いた研究活動を行う。
3. 研究委員会にて、産学官連携の研究活動を推進する。
4. 広報委員会にて、ホームページの充実、会員向けサイト、プレゼンテーションツールの拡充、プレス発表などの広報活動を活発に行う。

Ⅳ. 広報活動

1. 圧入工法の国内外の発注者に向けた広報活動を活発に行い、発注仕様書に反映させる支援を行う。今年度は、東日本大震災被災地の復興支援並びに、タイの防災対策に重点を置く。
2. 圧入工学セミナーなどのイベント、研究成果等を新聞・雑誌等に適時に発表する。
3. 全国圧入協会総会における講演等、国際圧入学会の活動を紹介する講演活動を実施する。
4. ホームページの改訂を行い、コンテンツの更新を速め、会員専用サイト等の拡充などを行う。

Ⅴ. 会員サービス活動

1. 会員勧誘活動を積極的に行い、法人会員を拡大する活動を充実させる。特に、全国圧入協会と連携し、そのイベント等を活用して法人会員の拡大を図る。
2. IPC 国際圧入センターを活用して、会員サービスを積極的に行う。
3. 国内外の法人会員や正会員の活動を積極的に支援する。今年度は、シンガポール、タイ、マレーシア、上海等のアジアに重点を置いて活動する。

以上

第4号議案 2013 年度収支予算書

2013 年度会計(2013.4.1-2014.3.31)

(単位: 円)

科 目	2012年度決算額	予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
法人会員入会金収入	224,696	200,000	△ 24,696	2社
② 会費収入				
正会員年会費収入	4,466,391	4,600,000	133,609	460名(1名増)
法人会員年会費収入	3,192,988	3,300,000	107,012	33口
③ 寄付金収入				
寄付金収入	3,000,000	3,000,000	0	技研製作所よりIPC賃借料
④ 雑収入				
受取利息収入	2,499	2,000	△ 499	
雑収入	1,020,000	0	△ 1,020,000	
事業活動収入計	11,906,574	11,102,000	△ 804,574	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
第4回研究助成金支出	4,500,000	0	△ 4,500,000	
第4回IPA国際ワークショップ開催費	4,145,474	0	△ 4,145,474	
第4回IPA国際ワークショップ準備	486,149	0	△ 486,149	
第4回IPA国際ワークショップ報告会	264,832	0	△ 264,832	
第5回IPA国際ワークショップ準備	0	300,000	300,000	
「Press-in Engineering 2013」印刷代	0	600,000	600,000	
第3回IPA助成賞論文査読料	90,000	0	△ 90,000	
第3回IPA研究助成賞受賞者研究支援	0	0	0	
第4回IPA研究助成賞選考料	48,000	0	△ 48,000	
第4回IPA研究助成賞受賞者研究支援	237,480	100,000	△ 137,480	
研究委員会委員謝金	0	100,000	100,000	
第5回IPA圧入工学セミナー	498,258	0	△ 498,258	高知
第6回IPA圧入工学セミナー・若手ワークショップ	0	700,000	700,000	高知
「インフラ構造 コンセプト&適用例」印刷代	781,617	0	△ 781,617	
海外会員活動支援	268,403	100,000	△ 168,403	
② 管理費支出				
ウェブサイト管理費	133,350	140,000	6,650	
会員証作成費用	0	10,000	10,000	
印刷代	119,210	120,000	790	
翻訳代	0	50,000	50,000	
国内外送料	58,455	100,000	41,545	
通信費	105,099	110,000	4,901	
賃借料	3,000,000	3,000,000	0	
IPC事務用品費	313,918	200,000	△ 113,918	
支払い手数料	106,657	50,000	△ 56,657	
③ 国内交通費				
事務局員	232,324	350,000	117,676	
研究委員会開催費	73,520	200,000	126,480	
④ 支部活動費	0	0	0	
事業活動支出計	15,462,746	6,230,000	△ 9,232,746	
事業活動収支差額	△ 3,556,172	4,872,000	8,428,172	

(単位: 円)

科 目	2012年度決算額	予算額	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 固定資産取得				
定期預金払戻収入	2,000,000	0	△ 2,000,000	
投資活動収入計	2,000,000	0	△ 2,000,000	
2 投資活動支出				
① 固定資産取得支出				
定期預金支出	0	5,000,000	5,000,000	
投資活動支出計	0	5,000,000	5,000,000	
投資活動収支差額	2,000,000	△ 5,000,000	△ 7,000,000	
Ⅲ 予備費支出				
予備費	30,495	30,000	△ 495	
研究予備費	0	0	0	
当期収支差額	△ 1,586,667	△ 158,000	1,428,667	
前期繰越収支差額	2,407,625	820,958	△ 1,586,667	
次期繰越収支差額	820,958	662,958	△ 158,000	

第 5 号議案 理事選任

理事選任

I. 理事の選任

1. 定款第 12 条に基づき、理事の新任をする。

任期は通常総会終了後から他の理事および監事と同じ 2015 年までとする。

【副会長候補者】

氏名	:	日下部 治（くさかべ おさむ）
現所属	:	独立行政法人 国立高等専門学校機構 茨城工業高等専門学校
役職	:	校長
国籍	:	日本

学歴

1973 年	東京農工大学 農学部 林学科卒業
1975 年	東京工業大学大学院 理工学研究科 修士課程修了（土木工学専攻）
1980 年	ケンブリッジ大学大学院 工学研究科 修士課程修了
1982 年	ケンブリッジ大学大学院 工学研究科 博士課程修了

職歴

1975 年	東京工業大学 助手
1979 年	宇都宮大学 助教授
1990 年	ケンブリッジ大学 チャーチル カレッジ フェロー
1991 年	広島大学 教授
1995 年	国立シンガポール大学 客員教授
1996 年	東京工業大学 教授
2000 年	東京工業大学 大学院理工学研究科教授
2004 年	文部科学省在外研究員 デルフト工科大学
2011 年	東京工業大学名誉教授
2011 年	茨城工業高等専門学校 校長

その他、地盤工学会会長、土木学会副会長、日本工学会監事、アジア土木学協会連合協議会事務総長、シンガポール国土交通庁国際顧問、国際地盤工学会理事、国際圧入協会理事等を歴任。

研究分野

土質力学、地盤工学、地盤リスク分析、地盤安全工学

【理事候補者】

氏名 : 寺師 昌明 (てらし まさあき)
現所属 : 地盤コンサルタント(フリーランス)
役職 : 株式会社 技研製作所 顧問
国籍 : 日本

学歴

1968 年 3 月 東京工業大学工学部土木工学科 卒業
1970 年 3 月 東京工業大学 大学院修士課程 修了
1981 年 9 月 工学博士

資格

技術士(建設部門)

職歴

1970 年 4 月-1975 年 3 月 運輸省港湾技術研究所土質部 研究員
1975 年 4 月-1977 年 3 月 同 上 主任研究官(地震防災、地盤安定解析担当)
1977 年 4 月-1978 年 3 月 同 上 地盤調査研究室長
1978 年 4 月-1992 年 3 月 同 上 地盤改良研究室長
1992 年 4 月-1994 年 3 月 日建設計中瀬土質研究所 主任研究員
1994 年 4 月-1999 年 9 月 同 上 副所長
1995 年 4 月-2006 年 3 月 日建設計 理事
1998 年 3 月-2003 年 3 月 日建ソイルリサーチ 取締役
1999 年 10 月-2006 年 12 月 日建設計中瀬土質研究所 所長
1999 年 12 月-2006 年 3 月 東京工業大学大学院 国際開発工学専攻 客員教授
2007 年 1 月-2009 年 12 月 日建設計 顧問
2010 年 1 月 - 現在 地盤コンサルタント
2010 年 3 月 - 現在 技研製作所 顧問

専門分野

地盤工学(基礎、地盤改良、遠心模型実験)と土木工学(埋立、港湾、空港)。
上記専門分野で、約 200 編の研究発表、国内外の設計基準や技術マニュアルの共同執筆、複数の書籍の分担執筆、そして 10 数回の招待講演や基調講演を行っている。最新の出版物は“The Deep Mixing Method”で Taylor & Francis/CRC Press より 2013 年 3 月に刊行されている。

【理事候補者】

氏名 : 田内 宏明 (たのうち ひろあき)
現所属 : 株式会社 技研製作所
役職 : 執行役員
国籍 : 日本

学歴

1977 年 3 月 国立 高知工業高等専門学校 機械工学科卒

職歴

1978 年～ 株式会社 技研製作所
1978 年～1993 年 技術開発部 (機械開発)
1993 年～1997 年 技術開発部 (製造・資材)
1997 年～2004 年 技術開発部 (機械開発)
2004 年～2008 年 技術開発部 (製造・資材)
2008 年～2010 年 経営企画部 2008 年 部長
2010 年～ 新工法開発部 (企画) 2012 年 執行役員

研究分野

圧入原理の優位性を生かした新工法、インプラント構造の考案、その構築の為の手段、機械システム開発。 地下の可視化技術、学術的解明結果の機械システムへの活用。

【理事候補者】

氏名 : 内村 太郎 (うちむら たろう)
現所属 : 東京大学
役職 : 准教授
国籍 : 日本

学歴

1994 年 東京大学工学部土木工学科 卒業
1996 年 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 修士課程 修了
1997 年 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 博士課程 中途退学
2003 年 博士(工学) 東京大学

職歴

1997 年 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 助手
2003 年 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 講師
2006 年 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 助教授
2006 年ー2007 年 ケンブリッジ大学 訪問研究員(併任)

研究分野

杭基礎と周辺構造との相互作用、斜面防災のためのモニタリングと早期警報、セメント改良および補強された土構造物、リサイクル材料の地盤構造物への適用、擁壁の耐震

【監事候補者】

氏名 : 石井 一嘉 (いしい かずよし)
現所属 : 株式会社 技研製作所 IPA 推進室
役職 : 室長(リーダー)
国籍 : 日本

学歴

1978 年 関西大学 工学部 建築学科卒(学士)

資格

1982 年 一級建築士 (No.169555)

職歴

- ①1978 年 4 月－2005 年 2 月 株式会社 熊谷組
- 1978 年 4 月－1984 年 1 月 北陸本店 建築部 (工事管理主任)
- 1984 年 2 月－1985 年 10 月 シンガポール駐在 (Project Manager)
- 1985 年 11 月－1999 年 1 月 米国ハワイ州駐在 (米国開発子会社・施工管理会社 社長)
- 1999 年 2 月－2005 年 2 月 東京本社 海外本部 (海外工務部長・工事部長)
- ②2005 年 3 月－2006 年 10 月 株式会社 東横イン電建 (総合建設部長)
- ③2006 年 11 月－現在 株式会社 技研製作所
- 2007 年 1 月－2010 年 3 月 ギケンヨーロッパ (General Manager)
- 2010 年 4 月－2013 年 1 月 国際事業部 (部長)
- 2013 年 2 月－現在 IPA 推進室 (室長)

職歴分野

1. 施工管理業務 (技術・品質・予算・工程・工事契約－日本・米国)
2. 設計管理業務 (設計契約折衝・契約管理・デザインコーディネーション－米国)
3. 不動産開発業務 (事業計画・ファイナンス組成・契約管理・法務・不動産売買－米国)
4. 海外子会社経営業務 (経営管理・総務・人事・契約・各種保険・保証管理・輸出入管理－米国)
5. 海外戦略立案・企画業務
6. 法務・訴訟管理業務 (米国・シンガポール・マレーシア・インドネシア・英国等)